

中学校1・2年生

⇒ 計画的・継続的な学びを進める

中学校1・2年生
こんな時期

学習時間のめやす
105～120分

「育ち」や「学び」の特徴

いわゆる「思春期」（大人への入り口）といわれる時期です

- ・心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みを抱えやすくなります。
- ・家族に依存したいという気持ちと、家族から自立したいという気持ちが混在します。
- ・矛盾する大人の態度に反抗的になります。また、仲間や友だちの影響を強く受けます。
- ・他人から見た自分を意識し、比べて落ち込んだり、無理に合わせようとしたりします。
- ・中学校生活を有意義に過ごすためには、部活動との両立が大切です。

学習内容の特色（学校で）

授業の内容が大きく変わります

- ・教科ごとに先生が変わることに加え、小学校で学習する内容に比べ、中学校の内容は、質・量とともに、ずいぶん違ったものになります。

自分から課題を見つける家庭学習に変化していきます

- ・最初は宿題から、やがて自分自身で勉強方法や内容を工夫して、何をするか自分で考え決められるようになることが大切です

家庭学習のつば 3か条

① 予習で工夫を！ 復習に重点を！

あらかじめ自分で調べたり考えたりして、授業に臨めば、課題を見つける力もつきます。また、その日のうちに、教科書やノート、プリントを使って学習のポイントを整理し、思い出すように働きかけましょう。「継続」は「習慣」となります。

② 学校のプリントの有効活用を！

学校（先生）のプリントには学習のポイントが整理されています。有効に利用するようアドバイスしましょう

③ 「急がば回れ」の気持ちで！

問題に取り組んでいて分からない時は、分かるところまで戻ってやり直すとともに、間違ったところは、必ず見直すことが大切です。先生に相談することもよいでしょう。学習課題をやりきったという達成感と自信が、さらなるやる気を起こします。

ワンポイントアドバイス 中学校1・2年生

家庭学習 こんな内容・方法で

- ・毎日、何時間勉強する、毎日、教科書（問題集）を何ページするなど、具体的な目標を立てよう
- ・学校の時間割に合わせて、予習復習の計画を立てよう
- ・毎日決まった場所で、決まった時間に、決まった教科を勉強しよう

国
語

- ・はっきりと声に出して教科書を読もう。繰り返して読むことが大切です。
- ・漢字は何回も書いて、確実に覚えるようにしよう。
- ・意味の分からない語句は、国語辞典で調べて確かめておこう。
- ・小説や物語を読んで、自分の生き方を考えてみよう。推薦図書はぜひ読もう。

社
会

- ・新聞やテレビで話題になっていることを、自分でも考えてみる習慣をつけよう。
- ・教科書を繰り返し読んで、内容の理解に努めるようにしよう。
- ・学習したことを、ノートに工夫してまとめてみよう。

数
学

- ・その日の授業で取り組んだ計算問題を、やり直しよう。
- ・教科書に載っている文章題と同じ種類の問題を、問題集などを使って解いてみよう。
- ・図やグラフなどの資料を見ながら、なぜそうなるのかを考えるようにしよう。

理
科

- ・その日の授業で学習したことをまとめたり整理したりするなど、ノート作りを工夫しよう。
- ・テレビや新聞などで、科学に関することに疑問や関心をもって調べてみよう。

英
語

- ・新出語（句）と基本文は、声に出しながら繰り返し書こう。
- ・教科書で習った本文は、まず、声に出して読んでみよう。読めたら、その意味を日本語で書いて、今度はその日本語を見ながら英文が書けるまで練習しよう。
- ・習った基本文型や文法を用いて、自分に関係のあることから英文で書いてみよう。

長い休みには、例えばこんなことを

- ・音楽関係の情報を集め、催しに進んで参加し、いろいろな音楽に親しもう。
- ・見慣れている果物や野菜、室内の様子などを題材に、スケッチをしてみよう。
- ・衣服の管理や調理、生活に役立つ「ものづくり」にチャレンジしよう。
- ・健康や安全に関するテレビ番組などを家族と一緒に視聴し、家族の健康や生活を振り返ろう。縄跳びやジョギングなどの運動を続けよう。